

# 学びを共有する利点を生かして

## 北斗高等支援学校

北斗高等支援学校は、上磯高等学校と校舎を共にする特別支援学校です。普通高校と特別支援学校が同じ校舎で学ぶ環境の利点を生かし、年間を通して幾つかの交流と共同学習を進めています。

### 対面式（生徒会企画）

毎年4月、新入生を歓迎するとともに、高校生活を知ってもらおうと、両校生徒会役員が企画し、対面式を実施しています。

真新しい制服に身を包んだ新入生が入場した後、両校の校歌が紹介され、生徒会制作の「学校生活紹介ムービー」が上映されます。緊張する新入生を和ませようと奮闘する両校生徒会役員の姿が頼もしく感じられる、春の恒例行事となっています。

### 清溪祭（生徒会&学科・学年企画）

毎年7月、両校合同で実施する学校祭は「清溪祭」という名称で親しまれています。2日間の日程で行われ、初日の前半は、生徒会企画のクイズ大会等を楽しみます。令和5年度は、北斗高等支援学



清溪祭  
物品販売

校の生徒が優勝するなどして大いに盛り上がりました。この日のために、両校生徒会役員が話し合いを重ねながら準備を進めています。みんなが楽しむことのできる内容を企画する中で、互いの学校の生徒を理解し合う機会になっています。初日の後半は、各学年のステージ発表が行われ、両校生徒の持ち味が発揮された出し物に、互いに大きな拍手を送り合います。

一般公開される2日目は、学科や学年で企画した模擬店や作品展示などが行われます。北斗高等支援学校の生徒は、環境・流通サポート科と福祉サービス科に分かれ、実習でお世話になっている企業や事業所の物品販売を行います。上磯高校の生徒・教職員をはじめ、地域の方々にも来校いただくなど、多くの人と触れ合う貴重な機会になっています。

### 福祉実習（見学と体験による交流学习）

昨年度から、北斗高等支援学校の福祉サービス科の実習を上磯高校の生徒が見学・体験する交流学习が始まりました。

上磯高校の選択教科の中に、「福祉」に関する科目が開設されることがきっかけで始まった取組です。令和5年度は、1・2年生を対象に実施しました。

1年生を対象に行ったのは、福祉実習の見学と体験です。見学では、地域の企業や公共施設で行うデュアル実習の様子を参観し、体験では、介護に関する実技を行いました。実技体験では、普段行っている福祉実習の様子を紹介した後、上磯高校の生徒たちに包布交換とシーツ交換の体験してもらいました。北斗高等支援学校の生徒たちは、わかりやすいように伝えようと、実演を交えながら上磯高校の生徒たちの体験をサポートしました。



校内でのシーツ交換



高齢者施設での包布交換

2年生を対象に行ったのは、実際の高齢者施設で行う実技体験です。1年生時の交流学习で、「福祉」に興味を持った上磯高校の生徒が、北斗高等支援学校の実習現場に同行し、体験する取組です。1年生で体験した包布交換の技術を生かし、北斗市にある特別養護老人ホームにおいて、入所者の布団カバーの交換を、両校生徒で息を合わせながら協力して行いました。

### 合同体育（テニール）

令和5年度は、北斗と上磯の両校2年生の生徒が一緒にテニールを行う合同体育を実施しました。テニールは、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめるニュースポーツで、両校の体育で学習してきました。今回は、北斗・上磯混合チームを編成し、交流を兼ねて練習と試合を行いました。互いのプレーをたたく交流ムードが漂う中、珍プレー・好プレーが飛び出し、両校生徒ともに大いに盛り上がりました。



テニールを楽しむ生徒たち

（北斗高等支援学校

教諭 釘田 芳紀）